

江戸東京の明治維新

—身分とジェンダーの視点から—

「男女平等」「男女共同参画」が言われて久しいですが、現在日本のジェンダーギャップ指数は世界一五六カ国中一二〇位、G7では引き続き最下位。連日、男女差別、特に女性蔑視をめぐる話題が世間を騒がせてています。

ジェンダーはなぜ、どのように生まれたのか。今も変わらないのか、変化しているのか。現代の問題は何に起因するのか、解決のヒントはどこにあるのか。

こうした課題に迫るため、横山百合子さんによる講演いただきます。横山さんは女性の性の売買について、江戸・東京という都市社会、身分制の原理、ジェンダーといった視点から研究を進めてこられました。

本講座では、商品として売買された女性や遊郭、そしてそれを取り巻く人びとなどにもふれながら、近世から近代移行期の社会についてお話しいただきます。

講師：横山百合子さん

経歴

1956年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学（2003年博士号取得）。千葉経済大学経済学部教授などを経て、国立歴史民俗博物館教授、現在は名誉教授。日本近世史専攻。

関連業績

『明治維新と近世身分制の解体』（山川出版社、2005）、『江戸東京の明治維新』（岩波新書、2018）など。国立歴史民俗博物館企画展示『性差（ジェンダー）の日本史』（2020/10/6～12/6開催）を担当した。

²⁰²¹6/27 SUN 14:00 ~

オンライン（Zoom）にて開催

※事前申込み制

当会HPの専用フォームよりお申し込み下さい

東京歴史科学研究院

〒114-0023

東京都北区滝野川2-32-10-222(歴科協氣付)

Tel/Fax: 03-3949-3749

Web: <http://www.torekiken.org/>

e-mail: torekiken@gmail.com

Twitter: @torekiken

